

平成30年度
三田市予算編成に関する
要望書

新政みらい

厚地弘行	田中一良	佐貫尚子
北本節代	多宮健二	中田 哲

平成30年度三田市予算編成に関する要望事項

会派 新政みらい

【まちづくり】

(ソフト施策)

- 体験ボランティアによってボランティア意識の向上と普及を図る
- 空き家対策 (空き家対策のPRが不足している。とくにニュータウンの空き家情報をつかむための更なる工夫が必要。わかりやすいチラシの作成、宅建協会との連携)
- 空き家、空き部屋を活用した「学生シェアハウス」「老人と学生」「老人同士」の研究
- 空き店舗を活用した三田のスイーツコーナーを設ける
- 公園の管理や歩道の除草を地域と協働で行うための協議を早急に実施する
 - ・ まち協や自治会への事業委託 (防犯パトロール、草刈り、剪定、住民アンケート回収、広報紙配布などを通じて自治意識を高める)
- 地域担当制を見直し (何でも相談できる地域相談員を配置する)
- 交通体制の充実
 - ①バス事業者と住民と市の協議によりニーズにあったバス路線に見直す。
 - ②バス、タクシー、送迎など高齢者が移動に困らない施策を早期に実施する。
- 子ども110番を効果あるものに
 - ①児童への周知を地域(防犯グループ)の協力を得て実施する。
 - ②各小学校の通学路ハザードマップへ110番の家を明記する。
- 三田マスタースマラソンにファミリーマラソンをセットにして開催する
 - ・ 陸連登録選手は記録を意識するためスタートの位置を前にする
 - ・ マスタースマラソンには66才以上のクラスが必要(現在は65才まで)
 - ・ マラソンのゲストランナーは特定の有名人に定めて、三田のPRを毎年行ってもらう。
(毎年異なった陸上選手を呼んでも認知度が低く、効果が期待できない)
 - ・ 有馬富士共生センター横の芝生でグランドゴルフ大会を開催する
 - ・ 市内開催のイベント情報を積極的に市内外にPRする。テレビ局ラジオ局にも毎月発送する

(ハード施策)

- ・ 庁舎駐車場及び風の広場に防犯カメラを増設する
- 本庁舎1階ロビーにおいて、三田市関連のミニ博物館を設置
- 各市民センター等への無線LANの整備
 - ・ 新三田駅にエスカレーターを設置をJRに要望する
- ペDESTリアンデッキの花壇を移設して広場を拡張
- カルチャータウン商業施設用地の充実
 - ①学生寮等の誘致 ②カフェなど娯楽施設 ③国際交流の拠点施設
 - ④市民センター分館機能 ⑤大学を入れた「まちづくり協議会の設置等」
- 相野駅前周辺整備、相野踏切の拡幅の早期実現

- つつじが丘内の市有地の利用を検討
- 本庄文化センターのあり方についての検討を行う
- 道路の早期整備
(主要地方道三田西インター線、市道下相野ー広野線、市道寺垣内線の拡幅他)
- ・ 市道の白線表示の劣化が著しい、早期改善を求む
- 高校生が多く自転車通学する市道広野下相野線を車両の時間帯規制を行う
- 防犯カメラを市の主要道路や駐輪場、また通学路や商業施設等に設置
- 雨水側溝管理の徹底を行い市街地の浸水を防止
- ニセアカシアの樹木からの転換 (あかしあ台に植樹しているニセアカシアについては、外来生物法の要注意外来生物リストに挙げられており伐採が検討されている植物である。養蜂家には、なくてはならない植物ではあるが、成長が早く老木化や高木化による倒壊の危険性も危惧されることから、今後の植え替えについては、エキウム等低木やモニュメントなど、別のもので代用するように検討する。
- 歩道の根上がり補修整備と街路樹の間隔の見直し、維持管理費削減のための検討を行う
- 市道の草刈りが十分にできていないので対策を検討する
- 武庫が丘から狭間が丘に抜ける緑道の照明器具をLED化する
- 武庫川沿い歩道の(福祉センター～トーカンマンション)の足元が暗いので照明を設置する
 - ・ 武庫川の土砂の堆積についての調査と浚渫を兵庫県に要望する(木や草が生い茂っている)
- ・ 青野ダム湖畔周遊道路(水と風のルート10.6km)に、1km単位の表示板の設置
- 公園の高齢者用健康遊具の改善 (使われていない物がある。移設する必要がある)
 - ・ 人工芝生グラウンドの夜間照明の増設
 - ・ 人工芝生グラウンド横の土のグラウンドを有料にして収入増にできないか
 - ・ 陸上400メートルトラック用のラインを城山グラウンドに引く
 - ・ ふれあいプールは存続させる。必要なら使用料を上げる。

【教育・文化】

- 基礎学力習得の徹底(習熟度別クラス編成、地域の人材・学生・塾講師による放課後の指導)
- 英語力の強化対策
 - ①義務教育においてスカイプ等を用いた姉妹都市間でのフランクな語学教育
 - ②教育者にも語学研修(海外派遣研修)の制度を三田市独自で取り入れる。
- 道徳教育の強化 (社会の規範意識、規則正しい生活習慣(箸の正しい持ち方等)を身に着けるなどの教育を具体的に進める)
- 解放学級の見直し (被差別地区に限った解放学級は、被差別地区を残すことにならないか検討が必要。)
- 男女平等教育の一部見直し (男女が平等・対等であり、お互いの違いを認め特性を生かした教育を行う。男と女はすべて同じでなければならぬと言う概念は改める)
- 近代史の学習を充実させ、平和教育の見直しを行う
- 日本伝統文化(茶道、和装等)を教育の一環として導入
- 能やオペラなどを、身近に感じるような学びの企画

- 休憩時間は外で遊ぶことなど体力の強化を図る（子供たちの体力が低下している）
- ネットいじめ防止対策を強化する
 - ・ 合理的配慮の必要な児童・生徒に対応するカリキュラムを研究する
- 入学・卒業式の過剰な演出を控え厳粛な式典とする（合唱曲数、代表者による送辞と答辞）
- 学校給食の充実
 - ①学校給食の地場産野菜等自給率の向上。
 - ②残された給食残渣の堆肥化等食育の一環として取り組みを進める。
 - ③三田の充実した学校給食の情報を市内外へ発信する。
- 学校給食センターを再考 学校の統合に伴い民間力や自校式の給食を研究する
- 小学校がんばりタイムを更に充実させる
 - ・ 小学校でも癌についての理解を広める学習をする
- 放課後児童クラブは地域力で行う（児童のタクシー送迎は廃止する）
- チームによるアウトリーチ型家庭教育支援活動を進める
- 小学校の芝生化を広めていく（広野小学校を例に）
- 中学校部活動での外部指導者の採用（スポーツ21や民間事業者に委ねた指導者を導入）
- 中学校でカウンセラー以外にも相談できる人を配置する
- 全国規模の理科の実験や数学に関する川本幸民賞を創設する（ふるさと納税の活用も）
 - ・ 高校生の交歓留学、中学生の留学生を実施、補助する（ふるさと納税の活用も）
- 国際交流協会との連携がうまくいってないと思われる。（市の関りが少ないという不満）
- 図書館費の運営費削減を検討
- 「集いの円形広場」の活用(弥生が丘6丁目)

【市民病院】

- ・ どのような形でも市民の命を守る中核病院を三田市内に存続させる
- 小児科、産科、麻酔科など医師・看護師不足を解消する
 - ・ 医師を目指す学生への給付型奨学金制度の導入（三田で一定期間医師になることを条件に）
- コンビニ受診を減らす啓発（三田健康医療相談ダイヤル24や#8000の活用、医師講習会等）
- ジェネリック薬品の導入推進と、薬品の品質・安全性を十分に考慮する
- 院内薬局の再検討
- 車イス対応トイレの不足（入院患者から各フロアにおいて不足の声を聞く、要対応の検討）
- 二階玄関口の障害者用駐車場付近が混雑するので改善する

【福祉・保健】

- 待機児童の解消に向けた対策
- 高齢者の外出支援の充実
- 認知症カフェ運営のための相談や支援を実施
- 認知症予防対策について各市の事例から学び政策に活用

- 100才体操の推進
 - ・ 失語症の人の回復のための言語聴覚士を採用する
- 民生児童委員及び健康推進委員OB（経験者）の活躍の場の検討
- データーヘルス計画を基ににし、予防・管理を徹底し、医療費の削減を目指す。
（特に透析患者にならないための取り組み）
- 健康な歯8020運動の推進
 - ・ 緑内障の健診を広報などで勧めていく
- 子宮頸がん検診、乳がん検診の受診率アップを図る
 - ・ 乳がん検診時に超音波検査も導入する
- 自殺防止施策の充実（県事業の周知徹底など）

【農業・商工観光】

- 市内生産物のブランド力を高める。
- 農業後継者への支援
- 鳥獣被害対策を強化（防獣ネット補助を1農家でも可とする、手続きを簡素化する）
 - ・ 農業者の例外的野焼きについて県警と共通認識する。ルールを市民・農業者に周知徹底する
- 耕作放棄地の解消。就農を目指す借り手と農家の貸し手のニーズ把握、仲介を行う。
- 農機具等のリース事業で、新規の就農者への支援を図る
- 農業戦略会議では農業活性化に積極的に取り組む。JA兵庫六甲との戦略の共有化を図る。
- 農村部とニュータウンの人的応援交流
（ア）里山づくりに応援（イ）歩道の除草作業などの指導や機械の提供に応援
- 6次産業化を推進する
- 儲かる農業の研究（ア）松茸（イ）薬草（ウ）蜜花（エ）無農薬野菜（オ）輸出
- 畜産の職場体験を設けて、志のある若手を発掘し育てる。
- 地域おこし隊を更に増員する。市内の空き家に入居してもらうよう

観光施策

- シーズンイベントを実施する（春は菜の花、夏は向日葵、秋はコスモスやそばの花プロジェクト、枝豆収穫ツアー、夜空天体観察や蛍鑑賞等）
 - ・ 武庫川の散歩道を上記のイベント等と組み合わせて観光にも役立たせる
 - ・ 桜ウォークを発展させる（途中で演奏や物販、スイーツフェスティバルを取り込むなど）
- 農業エリアでの観光を目的とした民泊体験事業の実施
 - ・ ジビエ用食材として鹿・猪の解体ができる食肉センターを建設する
（篠山市など近隣市との連携、多可町ではドッグフードに加工販売している）
- 三田の食材を使用した季節弁当コンテストの開催を行い、三田の味覚として駅弁、桜ウォーク、農業まつりで販売する。
- 観光産業は産物だけではなく、歴史と文化を観光につなげる。

- 国際公園都市のイメージを発信、現在のオープンガーデンを大規模に発展させる。
- ビール発祥の地として「ビール記念日」を設ける（記念日協会への登録）
- 「さんだ de サンタ」の開催、「スイーツフェスティバル」を充実
- 有馬富士公園内にバーベキューコーナーを設けるなど集客力を高める
- 三田特産のお土産売り場の設置
- 三田地域振興（株）に三田の特産品の開発や営業部門を設置する。
- 新ビジネスの募集・審査や開業資金を市独自で融資する。
- ホームページや広報紙等で市内外へ、空き店舗の入居者を募集する
- ・ 三田にあるゴルフ場(7か所)を活かしたイベントを考案する

【環 境】

- 家庭から排出される生ごみの排出量抑制のための取り組みを検討する。
- 新たなごみ処理施設の建設計画を検討する。
- ごみ収集日を見直す、土曜日の収集は廃止する。
 - ・ ごみの福祉収集の実施（高齢化への対応、近隣市で多くの事例あり）
- 再生可能エネルギーの研究（バイオマス・太陽光・小水力など）
- 所有者不明の山や里山、水路、河川を含めて山林の管理方法を研究する。
- 森林伐採木のパトロール等指導を実施する（山林の伐採木がゲリラ豪雨で流出し新たな災害を発生している）
- 松枯れ、ナラ枯れ対策の拡充（薬を注入、木炭を山に散布するなど）

【企画・総務】

- ・ 市の施行記念式典の廃止含め抜本的に見直す
- 庁舎受付業務を常時1名体制にとどめる
- 施設の予約方法の見直し（7日前のキャンセルではその後の利用が困難なので、予約後1週超えるとキャンセル料発生にするとか、施設の大小で分ける事を検討する）
（午前0時からのスタートを改める。）
- 施設白書の情報を市民に提供する（施設の維持費の負担についての理解を広める）
- 選挙開票作業のスピードアップ
（開票作業の開始を体育館に投票箱が集まった時点で行う等）

防災

- 災害時の情報発信の方法を再検討する
（10月22日の台風21号で避難勧告が出たが、情報が行き渡っていない。
臨時災害用FMラジオ、デジタル無線、防災ラジオ、Jcom、eoネットなど様々な検討が必要）

- 職員：○ 目標管理と責任を明確にし、働きに応じた給与とする
- ・ 人事院勧告ではなく三田市独自の給与制度を検討する
 - ・ 頑張る職員のモチベーションが上がる職員基本条例の制定
- 土木、建築、電気、IT、機械、化学等専門職員の定期採用と民間経験の中途採用
 - 提案制度、プレゼンや表彰制度の活用で職員の意欲と職場風土を改善する
 - 他都市の先進事例への出張を充実する
 - ・ 出張時の宿泊費を実費精算にする（上限の設定、地方 13,500 円 東京 20,000 円など検討）
 - 職員の接遇能力の向上を図る
 - 地域担当者をサポートするために地元職員の応援隊を募集する。
 - ・ 災害時の緊急出動を考え、市内居住者を増やすための手当等を検討する
 - 職員組合の交渉内容を組合側だけでなく当局側も明らかにする。議事録の公開。
 - 業務中の交通事故を減少あるいは、なくすための具体策を講じる。
(運転無事故日数の表記、ドライブレコーダーの全車設置など)

以上